

Pair Letter

ペアレター



2021年 4月 新体制でスタート
病院長就任

就任のご挨拶

救命救急センター
新型コロナウイルスと闘う

感染症内科
入院中の患者さんの感染症治療や
院内感染予防と対策

排尿ケアチーム稼働

外来診療一覧 (R3.7.1現在)

詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

発行元：松戸市立総合医療センター 編集部

	診療科名	外来表(一般外来及び予約専門外来)	備考	
内科系	内科	腎臓外来	一般外来	火・木曜日は休診
		糖尿病・代謝・内分泌	一般外来	
		リウマチ・アレルギー	一般外来	
	循環器内科	一般外来／ペースメーカー外来		
	呼吸器内科	一般外来		
	消化器内科	一般外来		
	脳神経内科 (予約制)	一般外来		
	血液内科	一般外来		
	緩和ケア科 (予約制)	診察は外来主治医と相談		
	総合診療科	一般外来		
	皮膚科 (完全紹介予約制)	一般外来		
	化学療法内科 (予約制)	診察は外来主治医と相談		
	外科系	外科・消化器外科・乳腺外科	一般外来	
		呼吸器外科	一般外来	火・金曜日休診
心臓血管外科 (予約制)		一般外来		
脳神経外科		一般外来		
整形外科 (完全紹介予約制)		一般外来／小児整形／成人股・膝・肩・肘関節・手／側弯症／リウマチ		
形成外科 (予約制)		一般外来	水曜日休診	
眼科 (完全紹介予約制)		一般外来	火曜日休診・木曜日午後休診	
耳鼻いんこう科 (完全紹介予約制)		一般外来		
泌尿器科		一般外来		
産婦人科 (完全紹介予約制)		一般外来／妊婦健診／不妊外来		
歯科口腔外科 (完全紹介予約制)	一般外来	月曜日手術日より初診のみ		
小児	小児科	一般外来／小児神経／腎臓／アレルギー／呼吸器／血液／循環器／感染／内分泌		
	小児外科 (月曜午後予約再来のみ)	一般外来	月曜日午前休診・水・金曜日休診	
	小児脳神経外科	一般外来	月・水・木曜日休診	
	小児心臓血管外科	一般外来		
	新生児科 (予約制)	一般外来／シナジス外来	月曜日午後・火曜日午後休診	
その他	放射線治療科	一般外来	水曜日休診 (木曜日再来のみ)	
	救急科(再来) (予約制)	再来患者 11:00～12:00		
	精神科	現在休診中		
特別外来	女性特別外来 (予約制)	一般外来	月曜日以外は休診	
	禁煙外来	総合診療科外来へ		
	セカンドオピニオン外来 (予約制)	一般外来		
	母乳外来 (予約制)	産婦人科外来へ		
	ストーマ外来 (予約制)	人工肛門／人工膀胱(外科・泌尿器科外来または外来主治医と相談)		

松戸市立総合医療センター Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
TEL 047-712-2511(代) FAX 047-712-2512(代)

【診療】 月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始は休診)
【受付時間】 初診：午前8時30分～午前11時
再診：午前8時～午前11時

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。

【予約制】は、事前の受診予約が必要です。(6ページを参照)



総合医療センター
QRコード

交通アクセス：有料駐車場有(513台) 松戸駅・北松戸駅から新京成バス
馬橋駅・北松戸駅からゆめりんバス、新京成八柱駅からシャトルバス



特集

2021年 4月

お がた あきら 尾形 章 病院長就任

4月から前病院長の烏谷博英先生の後を継ぎ病院長を拝命いたしました尾形章です。

私は1985年に医師となり、外科医を志し1993年に当院前身の松戸市立病院に就職し今に至っております。医師になってからの情勢の変化はめまぐるしいものがあり、医療にも影響してきたとの思いはありますが、変化は一刻も止まることはありません。これからも変化に機敏に対応できる姿でありたいと感じております。

医師を志したきっかけは？

私は小学生のころは勉強ができる方の生徒ではなく、そのため親からは手に職をつけた方が良いと勧められていました。中学校時代は、渋谷の五島プラネタリウムが好きで物理学者に少し憧れていました。高校受験で進学校に入学したのをきっかけに、少し将来の希望が変わったと思います。周囲に医師のご子息が多く医師が身近に感じられるようになり最終的に医学部に進学しました。最近の医学生と接すると家族に病気がいたとか、自分が病気がちであったために医師を志したといわれる方がいて、むしろ素晴らしいと感心させられることが多いです。

医師として大切にしていることは？

医師として経験を積むとどうしても患者さんの病気の将来が見えるようになります。過去を振り返ると自分の経験をもとに患者さんに説明し納得を得ることが多くありました。

ただ患者さんはそれぞれに自分の思いがあります。その思いを叶えるためにどうしたら良いかを常に考えるようにしています。

私の考えとは異なる選択であってもそれが強い希望であれば叶えなければならないと思っています。そうした患者さんの思いを大切にしよう心がけています。

ご来院される皆さんへ

当院は地域医療支援病院であることから、紹介状がなければ受診できないとご批判を受けることがよくあります。これは大病院へ患者さんが集中しないように国が配慮した政策ですので何卒理解いただきたいと思います。我々は松戸市を中心とした東葛北部の最後の砦としての役割を十分に担って参る所存です。昨年以来のコロナ禍において、松戸市内で唯一のコロナ重症者受け入れ可能な病院として市外からも多くの重症者を受け入れ、県内各所からお褒めの言葉をいただいております。引き続き、松戸市民の皆さんへ各診療科が自信をもって良質な医療を提供することを第一に、「来てよかった」と思われる病院を目指していきます。



病院長の専門分野は？

外科が専門です。外科は一般外科、乳腺外科、消化器外科と今では分かれています。これまでにすべてを行ってきました。研修が終了した後、大学の研究室は肝胆膵外科のグループに入り、学位を取得しました。

難易度の高い肝臓がん、胆道がん、すい臓がんの手術を行ってきましたが、現在は、今まで積んだ経験を若手医師に受け継ぎ、指導医として後継者の育成に努めています。

お がた あきら
病院長 尾形 章

1985年千葉大医学部卒業後、同大学旧第一外科入局。国保多古中央病院、千葉県立救急医療センター、県立がんセンターに勤務。1993年に旧松戸市立病院へ、副院長を経て2021年4月より現職。

資格：医学博士、日本肝胆膵外科高度技能指導医、日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、消化器がん外科治療認定医

目指す松戸市立総合医療センターの在り方は？

松戸市立総合医療センターは非常に多くの機能を有する病院です。三次救急を担う救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、感染症指定医療機関、臨床研修指定病院などであり小児医療においても県内随一のものであります。これは経営において松戸市の支援を受けているから成り立っているところが大きいですが、その多くの機能を高度のレベルで提供できる病院にしていきたいと思っております。

そして大学病院などの特定機能病院までとはいかなくとも600床という一流の診療と接遇で品格を伴った病院を目指したいと思っております。

感染症内科



感染症内科部長代理
感染対策室長 **高柳 晋** たかやなぎ しん

2008年千葉大学医学部卒業後、同大学医学部附属病院、千葉社会保険病院、千葉東病院呼吸器内科、千葉大学大学院先端医学部専攻博士課程、2017年より千葉大学医学部附属病院感染症内科を経て、2021年より現職。
資格：感染症専門医

令和3年4月から新たに感染症内科が加わりました。感染症内科では、入院中の患者さんの感染症の治療や院内の感染予防と対策を行い、患者さんが安心して入院生活を送れるよう努めています。

① 感染症の治療

院内の細菌・ウイルス・真菌などによる感染症を各診療科と連携の上で治療しています。また最も効果があると考えられる抗微生物薬を使用して頂けるよう、各診療科へ情報提供を行っています。

② 院内の感染予防と対策

新型コロナウイルスや薬剤耐性菌などが院内で広がることは、患者さんの健康を守る上で大きな問題となります。

そのような事態を未然に防ぐために、適切な感染対策の立案、実行を行っています。

また万が一にも感染が広がってしまった場合は、速やかに原因の分析を行うとともに改善案の立案も行い、早期の終息を目指します。



感染対策をチームで確認 ICT

医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師など複数名から構成されるICT（インフェクション・コントロール・チーム）で活動しています。定期的にチームでラウンドを行い、院内の対策実施状況や対策の強化・改善が必要な場面がないか確認しています。



新型コロナウイルス感染症に対する全国のECMO件数は600件を超えており、当院でも12例で導入している

当院は近隣医療機関では対応困難な重症呼吸不全に対応できる設備とスタッフを擁しているため、松戸市内にとどまらず、広く東葛地区全域から70名以上のコロナ重症患者を収容してきました。

特に最先端の呼吸不全治療法であるECMOについては、12名の患者さんに対応してきました。この数字は県内トップクラスであるとともに、全国600以上あるコロナ感染症対応医療機関でも上位5%に入る実績です。また、その離脱率・生存率についても全国平均を上回る成績をあげています。

ようやく第4波の収束がみえてきた中、変異株の蔓延、オリンピック開催による人流増の医療現場を悩ませる不安なニュースが続いています。ワクチン接種と感染終焉しゅうえんに期待しながら、市民の皆さんの健康を守るべく、引き続きこのウイルスとの闘いを続けます。

救命救急センター 新型コロナウイルス感染症と闘う



救命救急センター長 **村田 希吉** むらた きよし

新型コロナウイルス感染拡大当初から、市民の皆さんをウイルスから守るべく奮闘してきました。

千葉県第二種感染症指定医療機関であり、かつ、重点医療機関であることから、三次救急医療機関として、交通事故・心肺停止などの重篤な患者さんも受け入れながらこの一年以上コロナ感染症と闘ってきました。

この状況で闘い続けている救命救急センターの一部を紹介します。

東京都出身。1996年弘前大学医学部卒業後、同大学外科勤務。国立病院機構災害医療センター救急科、東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センターを経て、2016年9月より現職。
資格：日本救急医学会指導医・専門医、日本外科学会指導医・専門医、東京医科歯科大学臨床教授、日本DMAT隊員（総括）、PDCA医療クオリティマネージャー

対応困難な重症呼吸不全に対応できる設備とスタッフ 新型コロナウイルス感染症の集中治療

集中治療室では重症コロナウイルス感染症専用ベッドを6床確保し、その診療に従事しています。多くの市民の皆さんからの応援の声、お弁当やお花などの差し入れを励みに奮闘を続けていましたが、変異株が確認されるようになった感染第3波以降は用意した6床すべてが埋まり、全員人工呼吸管理、ECMOも複数台稼働という状態が何日も続きました。

また、これまで多くを占めていた高齢肥満男性以外の患者さんが増えてきたのも第3波以降の特徴です。



新型コロナウイルス感染症
集中治療チーム

(撮影のためマスクを外しています)

就任のご挨拶



職員全員が持てる
力を最大限発揮

副院長兼診療局長
兼人工関節センター長
飯田 哲

千葉大学医学部卒業後、同大学整形外科教室入局。同大学附属病院、習志野第一病院、熊谷総合病院などを経て1996年から当院に勤務し、2021年4月より現職。
資格：日本整形外科学会専門医、リウマチ学会指導医

4月より副院長を拝命することとなりました。1989年の一年間、その後1996年から24年間当院で整形外科医として、関節外科を専門とし勤務しています。変形性関節症や関節リウマチなど関節の痛みにより思うように歩くことができない方に対して、生活の基盤となる「歩く」ことを劇的に改善させる「人工関節置換術」の治療を提供しています。現在、新型コロナウイルス感染対応のため、病床数を制限せざるを得ず、市民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしております。新型コロナウイルスの収束には時間を要すると思われませんが、東葛地区の救急医療、高度集中医療、地域医療を提供する総合病院としての役割を果たすため、職員全員が持てる力を最大限発揮できるように職場環境を整備する事が職務と考えております。「この病院に来てよかった。」と患者さん全員に思っただけよう全職員が力を合わせて、この新型コロナウイルスの難局を乗り越えていきたいと思っております。



患者さんにもっとも
近い存在として

副院長兼看護局長
芝崎 絵里

4月より副院長兼看護局長を拝命いたしました。当院は、救急医療・小児・周産期医療・地域医療を担う急性期の病院です。地域から求められる病院としての役割を果たすために、患者さんにもっとも近い存在であり続けられるよう、24時間継続して看護を提供しています。急性期医療や小児医療の分野を中心に、専門的知識をもつ専門看護師1名・認定看護師が24名在籍し、外来にいられる患者さんや入院中の患者さんへ専門的看護を提供できる環境です。当院で働く看護師は、地域に貢献したいと高い志を持ち、変化し続ける状況下においても質の高い看護を提供し、その人らしい生活が送れるように、患者さんとそのご家族を支えています。皆さんに選ばれる病院を目指し、「来てよかった」と思っただけの看護を職員自らが考え、実践していきます。



皆さんの「見える」
のお手伝いを

たわだ あやこ
眼科部長 **和田 彩子**

2001年千葉大学医学部卒業後、同大学眼科学教室入局。旧松戸市立病院、千葉大学医学部附属病院を経て2021年4月より現職。
資格：博士(医学)、日本眼科学会専門医、臨床研修指導医養成講習会修了

4月より眼科部長として着任いたしました。どうぞよろしくお願い致します。日々の生活の中で見ることで得る情報量は大きいものがあります。40歳以上の日本人では20人に1人が緑内障に、また白内障は年齢を重ねるとすべての方が患う疾患です。手術で治せる疾患、薬剤で進行を緩やかにしていくもの、残念ながら治療法が未だ確定されていない疾患とありますが、少しでも皆さんの「見える」のお手伝いのできたらなと思っております。気になることがございましたら、紹介状をお持ちになって当科へご相談ください。



薬に伴う不安や
疑問を解決していく

しおし せいいち
薬局長 **塩地 聖一**

1987年日本大学理工学部薬学科卒業。同年東京都都立墨東病院、大久保病院、大塚病院を経て、2006年より旧松戸市立病院。2011年から福祉医療センター東松戸病院、2021年4月より現職。

4月より薬局長に着任いたしました。旧病院でも在籍しておりましたが、以前と変わらず日々たくさんの方々とのつながりを温かく感じております。このような時代ですが、「苦しいのは自分たちだけではない！自分たちの役目を果たしていこう！」という意気込みで溢れています。私たち病院薬剤師は、地域住民や患者の皆さんの薬に対する期待を確かなものとし、薬に伴う不安、疑問を解決していくことが役目です。そして地域の薬局薬剤師とともに薬に関する多くの課題と向き合い、薬の適正使用に貢献することが求められております。時には厳格さをもって臨まなければならないこともありますが、丁寧に、誠意を込めてサービスをご提供いたします。よろしくお願いたします。

外来を受診される方へ

診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際は
お電話または診療科のホームページをご覧ください。



※クレジットカードをご利用いただけます。

※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合があります

・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合

※2 初診の予約方法

・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんがお電話で予約をする方法
(お手元に紹介状をご準備ください)
・かかりつけ医からFAXで予約をする方法

※3 次の場合は選定療養費のご負担はありません

・救急車で当院に搬送された方
・生活保護による医療扶助の対象となる方
・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
・労働災害・公務災害で受診の方
・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

排尿ケアチームができました!



排尿ケアチームは、尿道カテーテルを抜去した後の、適切な排尿ケアを施すためのチームです。

医師・看護師・理学療法士・作業療法士などの多職種で構成されており、医師は診断や薬剤調整を、看護師は排尿のための環境調整や残尿測定や導尿などのケアを、リハビリスタッフは排尿に関わるリハビリテーションへの計画を立て、病棟看護師と共にケアを行います。尿路感染症を予防するとともに、患者さんが自立して排尿できるよう支援することで、スムーズに元の生活へ復帰できるよう支援し、早期退院や寝たきりの減少を目指します。

環境調整や残尿測定や導尿などのケアを、リハビリスタッフは排尿に関わるリハビリテーションへの計画を立て、病棟看護師と共にケアを行います。尿路感染症を予防するとともに、患者さんが自立して排尿できるよう支援することで、スムーズに元の生活へ復帰できるよう支援し、早期退院や寝たきりの減少を目指します。



松戸運動公園で実施している新型コロナウイルスワクチン接種に当院の医師、看護師が協力しています。(月～金曜日)

ワクチン接種をご希望される皆さまのニーズに迅速にお応えするため、1日約800件のペース(市内最大)で、都道府県の大規模接種会場と同等の規模で実施中です。

松戸運動公園集団接種に協力しています